



建設業入門

建設業界は若い力を求めています!



一般社団法人 北海道建設業協会





建設業で一緒に働きませんか。

建設業は、私たちの生活や様々な産業活動と切っても切れない関係にあります。人々が快適・安全に暮らしていくための、また企業や行政・団体などの事業や活動を支えていくための様々な施設(住宅やオフィス・事務所ビル、橋やトンネルなどの社会資本)を造り、維持(老朽化に対応した修繕・補修、更新など)していくことが、建設業の仕事です。また、東日本大震災などによる大きな被害発生を契機とした防災・減災対策の必要性の高まりとともに、こうした事業の実施も担う建設業への期待も大きくなっています。

このように私たちの安全で豊かな暮らしや企業などの活動を下支えする建設業は、地域の社会的な活動への協力のほか、地域の人々の働き口にもなるなど地域雇用の確保の面でも大きな役割を果たしています。こうした建設業の仕事は、今後もしっかりと続けていかなければなりません。

建設業の分野は大きく「土木」と「建築」に分けられます。

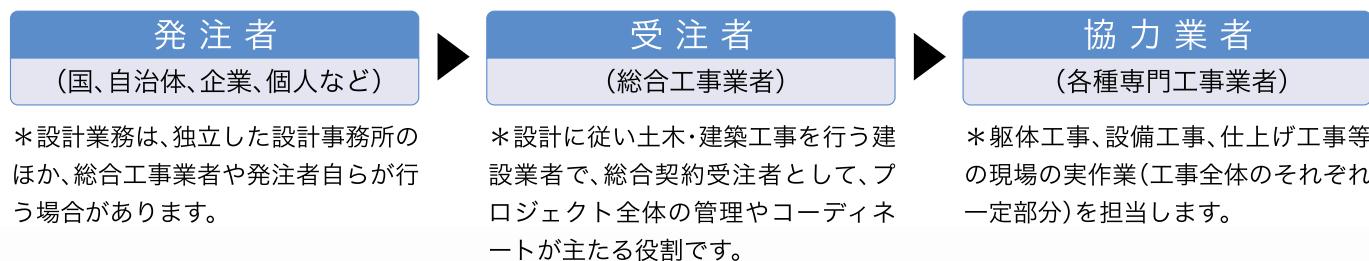
「土木」は、社会基盤としての新幹線をはじめとする鉄道、道路、橋、トンネル、ダムといった施設の工事や、電気・ガス・水道の配管工事、宅地造成などがその領域で、工事規模も大きく、誰にとっても必要なものが多いので、国や自治体が行う公共事業がほとんどとなっています。

「建築」は、土木工事で整備された箇所にビルやマンション、住宅などを建てるのがその領域で、公共事業だけではなく、個人の住宅や企業のビルを造る場合も多く、工事規模は大小様々で、工事件数も非常に多いのが特徴です。

この冊子は、建設業を理解してもらえるよう、できるだけ分かり易く解説し、一人でも多くの皆さんに興味をもって欲しいと考え、建設業の関係団体が共同で作成しました。

◀ 建設業界の仕組みと構造

建設業は、お客様(発注者)の注文を受けてから工事等を始める仕組みです。一般的には、発注者から受注した企業(受注者)が直接、工事を請け負い、設計業者、専門工事業者のほか、資材メーカーや建設機械リース業者など異なる多くの関係業者も含め、受注した企業が全体を取りまとめ(コントロールしながら、工事の完成に導いていくことになります。



建設業は公共性の強い業界でもあり、工事の適正施工の確保、建設業の健全な発展の促進等を目的とした建設業法により、営業許可が必要とされています。許可区分は次の29の業種となっており、専門技術者や国家資格者の有無など、それぞれの資格要件が定められています。

建設業の29業種

業種	内 容
土木一式工事業	総合的な企画、指示、調整のもとに土木工作物を建設する仕事
建築一式工事業	総合的な企画、指示、調整のもとに建築物を建設する仕事
大工工事業	木材の加工・取り付けによって工作物を築造したり、工作物に木製設備を取り付ける仕事
左官工事業	工作物に壁土、モルタル、しっくい、繊維などをこて塗り、吹き付け、はり付ける仕事
とび・土工・コンクリート工事業	足場等の設置、くい打ち、土砂の掘削・締め固め、コンクリート工事などの仕事
石工事業	石材の加工、積み方によって工作物を築造し、または工作物に石材を取り付ける仕事
屋根工事業	瓦、スレート、金属薄板などで屋根をふく仕事
電気工事業	発電、変電、送配電などの設備を設置する仕事
管工事業	冷暖房、空気調和、給排水などのための設備、水・油・ガス・水蒸気などを送る設備の工事の仕事
タイル・れんが・ブロック工事業	れんが、コンクリートブロックなどで工作物を築造したり、取り付けたりする仕事
鋼構造物工事業	形鋼・鋼板などの鋼材の加工・組み立てによって工作物を築造する仕事
鉄筋工事業	棒鋼などの鋼材を加工・組み立てる仕事
舗装工事業	道路などの地盤面をアスファルト、コンクリート、砂、砂利などで舗装する仕事
しゅんせつ工事業	河川、港湾などの水底の土砂などをさらう仕事
板金工事業	金属薄板などを加工して工作物に取り付けたり、付属物を取り付けたりする仕事
ガラス工事業	工作物にガラスを加工して取り付ける仕事
塗装工事業	塗料、塗材などを工作物に吹き付け、塗りつけ、はり付ける仕事
防水工事業	アスファルト、モルタル、シーリング材などで防水工事を行う仕事
内装仕上げ工事業	木材、ボード、吸音板、壁紙、たたみ、床、ふすまなどで建築物の内装仕上げを行う仕事
機械器具設置工事業	機械器具の組み立てによって工作物を建設したり、器具を取り付けたりする仕事
熱絶縁工事業	工作物または工作物の設備を熱絶縁する仕事
電気通信工事業	有線・無線電気通信設備、放送機械設備、データ通信設備などの電気通信設備工事の仕事
造園工事業	整地、樹木の植栽、景石の据付などで庭園、公園、緑地、道路などの築造、緑化、植生工事の仕事
さく井工事業（さく井：穴を掘ること）	さく井機械でさく孔、さく井を行う工事、揚水設備の設置を行う工事の仕事
建具工事業	工作物に木製・金属製の建具を取り付ける仕事
水道施設工事業	上水道、工業用水などのための取水、浄水、配水などの施設工事、下水道処理設備工事の仕事
消防施設工事業	火災警報設備、消火設備、避難設備、消火活動に必要な設備工事の仕事
清掃施設工事業	し尿処理施設またはごみ処理施設を設置する仕事
解体工事業	住宅、ビル、煙突、橋梁などを取り壊す仕事
	(平成28年建設業許可区分として新設)

土木の しごとは

道路、下水道、鉄道、港など

産業・社会・生活の基盤を造っています。

土木

プレストレスト・コンクリート工事業

地質調査業



型枠大工事業

9P

土木工事業

5~6P

鉄筋工事業

17P

舗装工事業

18P

建築の しごとは ビル、マンション、学校など 建物を造っています。





土木工事業

私たちの生活や社会の基盤をつくっています。

工事のイメージ写真例

1 基礎工



2 橋梁下部工



3 橋梁上部工（施工中）



4 橋梁上部工



土木工事業の仕事内容

土木工事業は、ダム、河川、トンネル、道路、下水道、橋、鉄道、港湾など様々な施設や構造物を造り上げたり、配管工事や区画整理・宅地造成をしたりするなど、様々な人や物を動かしてものづくりを進める総合的でダイナミックな仕事です。

土木工事は、都市部のほか自然の中で行われることも多く、周辺の人々の安全や自然環境にも配慮しつつ工事を進める必要がありますが、土木技術の発達もめざましいものがあり、こうした技術を活用して、環境に優しく災害に強い基盤づくりに取り組んでいます。

こうして出来上がった構造物などは、私たちの命や暮らしを守り、社会の様々な活動の基盤を下支えするなど重要な役割を果たしており、今後ともその重要性や必要性は高まってきています。

関連する資格・免許

- 1・2級土木施工管理技士（2級は高校在学中に学科受検可能）
- 1・2級建設機械施工技士（2級は高校在学中に学科受検可能）
- 車両系建設機械運転技能講習



旧道庁舎前赤れんが敷歴史的街路整備



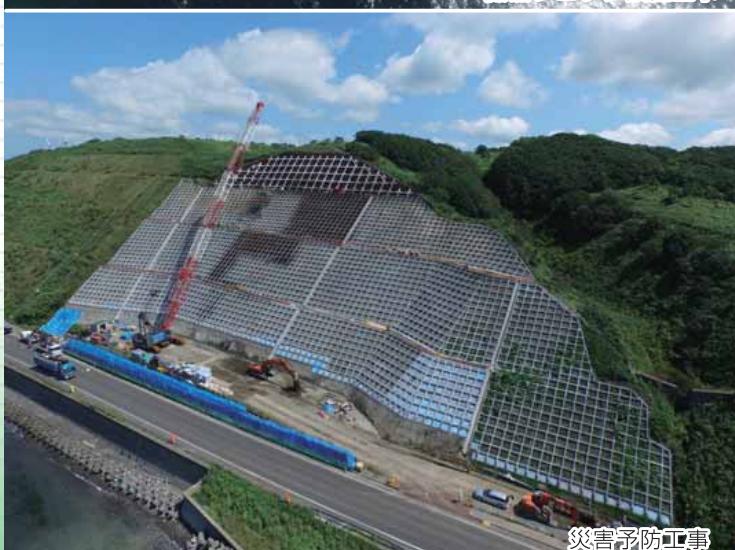
農業基盤整備工事



漁礁ブロック設置工事



ダム工事 (夕張シユーバロダム完成)



災害予防工事



護岸工事